

News

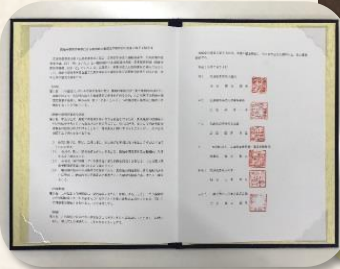
広島県農地中間管理機構

農業者団体と協定を締結

～さらなる農地の集積と集約化の促進に向けて～

平成 29 年 7 月 24 日 (月), 3 つの農業者団体 (広島県農業法人協会, 広島県集落法人連絡協議会, 広島県稲作経営者会議) と機構は, 「農地中間管理事業による農用地の集積及び集約化の促進に関する協定」を締結しました。

協定書



調印の様子

積極的な PR に向けて

平成 28 年度の農地中間管理事業の実績は対前年比 82% と, 本県も全国と同様に伸び悩んでいます。その要因について, 農林水産省の調査では, 農地所有者や担い手に対する農地中間管理事業の PR 不足が課題とされています。

協定を締結した 3 団体の会員の多くは土地利用型の経営体であり, 地域の農地維持や経営規模拡大など, 会員の皆様と連携を図ることで, 機構事業の PR が大いに期待されます。

ほとんどの農地が中山間地域にある広島県において, 担い手ニーズに対応した, まとまった優良農地を確保することは容易ではありませんが, 関係機関, 特に, 新たに設置される農用地利用最適化推進委員との連携を密に, 地域での話し合い活動に積極的に参加することで, さらに理解を深め, 地域の実情に応じた取り組みを展開していきます。

中国四国地方では 5 番目の協定締結

このような協定は, これまでに 20 府県において締結されており, 中国四国地方では, 岡山県, 山口県, 香川県, 愛媛県に次いで 5 番目となります。

今後, 他の団体とも連携を深め, 協定締結に向けた取組を検討していきます。



農地中間管理事業による農用地の集積及び集約化の促進に関する協定締結式

右から, 広島県農林水産局 上仲局長 (立会人), 広島県集落法人連絡協議会 畝会長, 広島県農業法人協会 高木会長, 広島県稲作経営者会議 藤原会長, (一財) 広島県森林整備・農業振興財団 寶来理事長, (一社) 広島県農業会議 佐伯副会長 (立会人, 会長代理)

農業者団体の紹介

○広島県農業法人協会

会 長 : 高木 昭夫 ((農) ファーム志和事務局長)

会員数 : 23 法人

県内の農業法人の結集を図り, 会員相互の協力連携のもとに, 法人経営の安定確立に取組み, 企業経営体として広島県農業の発展に資する。

○広島県集落法人連絡協議会

会 長 : 畝 啓一郎 ((農) さだしげ代表理事)

会員数 : 226 法人

県内の集落法人の連携を強化し, 地域農業の振興と農地の保全, 集落機能の維持・発展に向けて牽引的役割を發揮する。

○広島県稲作経営者会議

会 長 : 藤原 博己 ((株) ライスファーム藤原代表取締役)

会員数 : 17 経営体

会員相互の緊密な連携のもとに, 経営・技術管理の研鑽に努め, 稲作経営の安定と経済的地位の向上をはかり, 地域農業の発展に寄与する。

○上記農業団体の機構利用状況 (H26~28 年度実績)

(単位 : 法人, ha)

農業団体	会員数	借受 申込	転貸実績	
			経営体	面積
広島県農業法人協会	23	9	5	281
広島県集落法人連絡協議会	226	152	114	1,951
広島県稲作経営者会議	17	12	11	97
合計 (重複会員除く)	254	162	120	1,964

◆農地の貸付希望者を随時受付中

随時, 農地の貸付希望を募集しています。

詳しくは, こちらから

→ <http://hsnz.jp/kikou/kashitai.php>